大人 きたえ ほめる

「校訓とともに」

じぶんから　みんなと　いっしょうけんめい

子ども のびる ばや

長崎市立外海黒崎小学校
令和４年度学校だより
令和４年９月 20 日(水)
校長　溝　川　　浩

～9 月 25 日運動会に向け「やればのびる」を実践中～

年間の学校行事を子供たちに負担なく計画することは結構至難の業(わざ)です。そういった様々な教育活動を年間約 200 日の授業日にバランスよく計画するのが教務主任という立場の職員。今年度は４年担任と兼務する川添教諭です。勤務時間が終わったあと、教頭と２人で授業や行事準備の進捗についてよく打合せをしています。先日の台風接近や臨時休業といった突発的なことがあると、計画の修正に追われるものです。２人の働きが、学校の円滑な動きを支えています。

さて、児童 45 人が「続けてやれば　もっとのびる」を運動会に向けた活動で実践する毎日です。台風一過のいま、連休明けに全児童が元気に登校できたことをうれしく思います。

まだ３連休が２度あります。ご家族、地域の皆様にとって有意義となりますように。

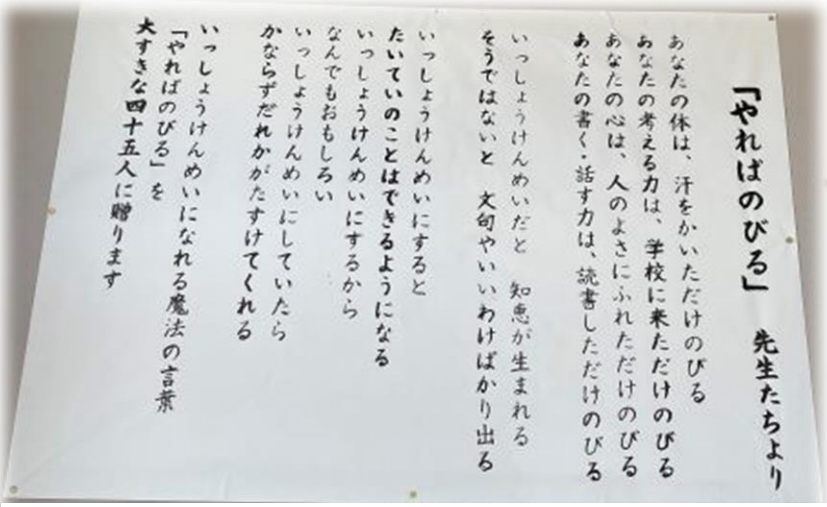
子供たちにエールを送っています

校訓の実現を目指し、「やればのびる」の実践を日々頑張る四十五人です。

そんな四十五人に詩をつくり、玄関に掲示しました。その名も「やればのびる」。

特に、はじめ４行の言葉をぜひご家庭でも言い続けていただけたら幸いです。

のびる力は、総じて「続けた」だけ習得できます。のびた２学期を全児童に通知表として十二月二十三日終業日にプレゼントできたらと思い、これからも鍛え褒める保護者と職員であり続けたいです。**小学生の「のびる秘訣」は、「生活習慣」に尽きます。「やりたいこと」の前に「やるべきこと」を優先して行う耐性を育てましょう。**



「やればのびる」　先生たちより

あなたの体は、汗をかいただけのびる
あなたの考える力は、学校に来ただけのびる
あなたの心は、人のよさにふれただけのびる
あなたの書く・話す力は、読書しただけのびる

いっしょうけんめいだと　知恵が生まれる
そうではないと　文句やいいわけばかり出る

いっしょうけんめいにすると
たいていのことはできるようになる
いっしょうけんめいにするから
なんでもおもしろい
いっしょうけんめいにしていたら
かならずだれかがたすけてくれる

いっしょうけんめいになれる魔法の言葉
「やればのびる」を
大すきな四十五人に贈ります

子供の体は汗をかいただけ、考える力は学校に来ただけ、心は人のよさにふれただけ、そして、書く・話す力は読書しただけ必ずのびます。
学校と家庭で共通の教えと実践に努めてまいりましょう。
職員からエールを込めたこの詩を玄関に掲示中。全校を代表して５・６年生と達筆な担任（松野先生）に清書してもらいました。

★ある警察官から聞いた「運転マナーの良いドライバー」★

街中で交通取り締まりを行う警察官。取り締まりが違反や事故を未然に防止されていることは、皆さんご承知と思います。

また、警察の方は、日々の取り締まりを通じて、運転マナーが良いドライバーのタイプが分かると聞いたことがあります。

① 信号機のない横断歩道で歩行者に道を譲るドライバー

当たり前と感じる人もいるかもしれませんが、意外にも、ドライバーが渡ろうとしている歩行者を見落として横断歩道を通過してしまうケースは多いそうです。道路交通法では、「車両等が横断歩道や自転車横断帯に接近する場合は、その進路の前方を横断する歩行者又は自転車がいないことが明らかな場合を除いて、横断歩道等の直前で停止できるような速度で進行しなければならない」と定められています。さらに「車両等は、その進路の前方の横断歩道を横断し、または横断しようとする歩行者等があるときは、その横断歩道等の前で一時停止し、かつ、その歩行者等の通行を妨げないようにしなければならない」とも決められています。法令でも定められている通り、横断歩道付近に人が立っていれば、横断歩道を渡る可能性があると判断し、一時停止するように心がけることが大切です。

② 一時停止場所でしっかりと止まっているドライバー

これも①と同様に、ドライバーが思っているより停止できていないそうです。警察庁の「交通規制基準」では、一時停止場所は坂などの勾配や道路工作物などで左右の見通しが悪い場所、出会い頭の事故が発生するおそれのある場所などを対象に設置されていると決まっています。

③ 車道から店舗駐車場などに入るときに、歩道や路側帯の前で一時停止するドライバー

道路交通法で定められており、「車両が道路外の施設や場所に出入りするためやむを得ず歩道や路側帯を横断するなどの場合には、歩道又は路側帯に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない」となっています。この規定について知らなかったという人もいるのではないでしょうか。左折進入が後続車に分かるよう、左ウインカーの早めの点滅は、追突事故等のトラブル回避にもなります。

いつしか運転歴四十年近くになる私は、交通警察２４時なるテレビ番組を観ては自己啓発に活かし、また、交通事故は、加害、被害の両者が辛い思いをし記憶に残る事と戒めています。

親運転の車に同乗する子供は、親の運転マナーを座席から見聞きし、規範や道徳の在り方を学んでいるものです。子供の成長に責任がある大人としても、運転マナーの実践は、何より生きた教育です。自分のため、家族のため、道行く人の幸せのために、皆で運転マナーに磨きをかけていきましょう。